

# スポーツと環境についての一考察 ～ 持続可能な開発へ、環境を重視するオリンピック～

A study of sports and the environment

～The Olympics for sustainable development that values the environment～

1K06B062

指導教員 主査 宮内孝知先生

押野 裕元

副査 木村和彦先生

## 【序論 研究の動機、目的、方法】

近年、オリンピックをはじめとしたスポーツイベントは、スポーツの商業主義化が進んだことにより、開催地に莫大な経済効果を生み出している。今日では、メガスポーツイベントを招致・開催するには「環境」というキーワードが必要不可欠となっている。なぜ、スポーツ界が、環境問題に積極的に関わっているのか。果たして、肥大化するスポーツと自然環境の共存は可能なのか。スポーツ界が担うべき役割と今後の可能性について、オリンピックの発展過程、環境への取り組みの歴史を踏まえ考察した。なお本論文は文献研究である。

## 【第1章 オリンピックとは】

スポーツ発生の歴史から、スポーツは当初アマチュアたちの余暇活動でしかなく、今日のような商業主義化、メガスポーツイベントとは無縁のものであった。第1章では、スポーツイベントがいかにして商業主義化、巨大産業化していったのか、特にオリンピックという世界最大のスポーツのイベントを中心に、その意義、歴史、都市に与えるインパクトを考察し、スポーツと環境における今日につながっていく動きを研究した。

## 【第2章 環境問題をめぐる動き】

深刻な地球環境問題はメカニズムが多岐にわたり非常に複雑であることから、その改善策や

予防策は一国だけの取り組みではとても対応できるものではなく、全世界挙げての取り組みが求められる。そのために環境問題はグローバルな視点からとらえていく必要がある。第2章では現在の環境問題について定義、歴史を概観した上で、特に地球温暖化問題に注目した。また現在の環境問題において、世界的にどのような取り組みがなされているのかを論考した。

## 【第3章 オリンピックと環境】

地球環境問題は、私たちの社会が等しく解決のための努力を迫られている 21 世紀の最も大きな課題の一つであり、個人・社会のさまざまなレベルでパラダイム転換の必要性が提唱されている。スポーツもちろん例外ではなく、環境問題がオリンピック発展のための重要課題の一つとして位置づけられたのも、持続可能な発展を目指すスポーツのパラダイム転換一つの現れである。また、オリンピックが行う環境に対しての取り組みを、リレハンメル・長野オリンピックの事例を挙げながら考察した。これらの大会がオリンピックの環境基準を提示することにより、持続可能なスポーツの発展に向かって対立から協調へと新しい歩みを始めようとしている。しかし、スポーツ環境の変化は確実に近づいており、本当の自然でスポーツができなくなる時代が予想以上に迫ってきている。

## 【第4章 スポーツと環境の今後の関係性につ

いて】

大気汚染や地球温暖化による雪不足などのさまざまな地球規模の環境破壊によって、スポーツ環境は年々悪化しているというのが現状である。今、私たちが行動をおこさなければ環境問題はさらに深刻化し、子供たちの世代、そしてその次の世代へと、負の遺産が受け継がれていくことになる。自然環境と共存していくためには、スポーツ界全体が、よりよい環境を取り戻すために今出来ることを行わなければならない。どんなスポーツをするにも、環境と関わっていくことは必要不可欠であり、環境は決して無限ではないということを、私たちは忘れてはならない。